

# いま!この一冊!

いっさつ



## 『ニッキーとヴィエラ』

ホロコーストの静かな英雄と救われた少女』

さく  
作/ピーター・シス

やく なくもと ゆみこ  
訳/福本友美子



しゅっぱん  
BL 出版 E/シ

1909年、イギリスで生まれたニッキーはいろいろなことに興味を持っていた男の子でした。若い頃はヨーロッパじゅうを旅し、大人になって銀行で働きました。ニッキーは、その頃のヨーロッパの不安定な情勢を心配していました。

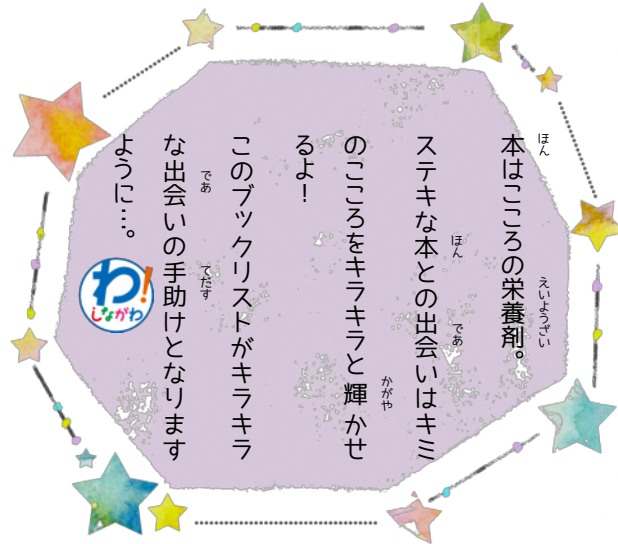
1938年、ヴィエラは10歳。チェコスロバキアに住む女の子です。家族とともに、とても幸せに暮らしていました。しかし、徐々に戦争の影が忍び寄りてきたのです。お父さんとお母さんは、あるイギリス人が、子どもたちを救いイギリスへ逃がしてくれる、という話を聞きつけます。

そのイギリス人が、ニッキーでした。

第二次世界大戦中、ヒトラーのひきいるナチス・ドイツ軍により、多くのユダヤ人が犠牲になりました。

その中で、必死に子どもたちを救ったにもかかわらず、そのことを誰にも言わなかった静かなる英雄ニッキーと、自分を助けてくれたのが誰か知らなかったヴィエラ。

ニッキーとヴィエラの物語が、ここから始まります…。

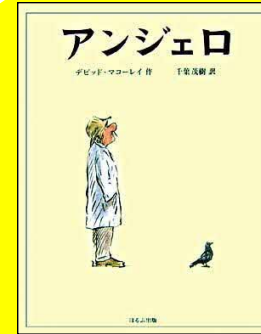


# としょかん 図書館おすすめブックリスト



キラ  
キミのこころに☆めきを☆

しょうがくせい  
小学生



## 『アンジェロ』

さく  
作/デビッド・マコーレイ

やく ちば しげき  
訳/千葉茂樹

しゅっぱん  
ほろろ出版

E/マ



アンジェロじいさんは、教会の壁を修復する仕事をしている。古い教会の壁をぬりかえ、彫刻にあたらしい命をふぎこむ。

ある日、アンジェロじいさんは、仕事によわったハトを見つけ、しかたなく家に連れかえって手当てをした。ハトなんて仕事の邪魔になるだけだと思っていたアンジェロじいさんだったが、いつのまにか大の仲良しになって…。

アンジェロじいさんとハトの出会いから別れ、そしてあたたかな交流をえがいたおはなし。

ねんなつごう  
2022年夏号

へんしゅう ほんこう ごとんだ としょかん  
編集・発行：五反田図書館

1・2ねんせい〜

『ロザリンドとこじか』

徳間書店

E/A

作・絵/川口ハスジ 訳/石井登志子

ある日、女の子は、おじいちゃんと一緒に絵本をつくることにしました。それは、こんなおはなしです。

さわやかな夏のある日、ロザリンドという女の子が、草原でこじかとなかよく過ごしていました。ところが灌漑のてっぽうの音におどろいて、こじかが森へ逃げてしまっ…。



3・4ねんせい〜

『ぎけんなゲーム』

文研出版

93/7

作/マリー・プラマン 訳/もりうちすみこ 絵/佐竹美保

サムは生まれつきの病気のため、運動も旅行もさせてもらえない。ローモンド湖への林間学校もあきらめかけていたサムだったが、なんと両親が参加を許してくれた。しかし、いつもサムをいじめているブランドンたちと同じチームになってしまい…。

楽しみにしていた林間学校は「ぎけんなゲーム」のはじまりだった!?



5・6ねんせい〜

『サマークエスト』

フレーベル館

93/キ

作/北山千尋

おれの父ちゃんは海で死んだ。それ以外のことを、おれはほとんど知らない。母ちゃんもおじさんも、父ちゃんの話しになると、みんな口を閉ざしてしまう。そんなとき、おじさんの家で偶然見つけた写真をきっかけに、ヒロキは父の死の真相をつぎとめようと、ある行動をおこす…。

少年が挑んだひと夏の冒険と成長の物語。



『けんかのたね』

岩波書店

93/ホ

作/ラッセル・ホバート 訳/小宮由 絵/大野八生

ある日の夕方、お父さんが帰ってくると、家のなかは大さわぎ! イヌはネコを追いまわし、4人きょうだいは大ゲンカ。理由をきいても、みんなは自分のせいじゃない! というばかり。いったい、なにがあったの? 仲なおりできるの?

いいわけばかりする子どもたちとイヌとネコ。しかし、ねずみだけはいいわけをせず…。



『先生、感想文、書けません!』

童心社

93/ヤ

作/山本悦子 絵/佐藤真紀子

夏休みの登校日、読書感想文を提出しなくてはいけないのに、みずかは書いていません。「だって、書けないんだもん」と先生にうったえます。読んだときの気持ちを言葉にしようと思うと、しゅるしゅるしゅるって消えてしまう。でも、やはり宿題はかならず提出しなくてははいけません。

そこでみずかが考えた作戦とは!?



『エヴィーのひみつと消えた動物たち』

93/A

作/マット・ハイグ 訳/宮坂宏美 絵/ゆうこ

エヴィーは動物が大好きな、ちょっと「とくべつな」女の子。じつは動物と話ができるのだ。でも、パパから禁じられて、このカノことは誰にも話せない。

あるとき、動物園でライオンのおりに入ってしまった男の子を助けたことから、「ライオンと話せる少女」として有名になってしまう。それどころか、ある男に狙われることになってしまい…。



『ホカリさんとなつのももだち』

文溪堂

93/H

作/はせがわさとみ 絵/かわかみたかこ

ホカリさんは、小さな町のゆうびん屋さん。あついなつの日午後、野原の道を自転車で走っていると、「ゆうびんやさん」とよぶ声が聞こえました。

ホカリさんは、小さなカマキリや、こりすや、海からの手紙をとどけます…。



『おしゃべり森のものがたり』

フレーベル館

93/J

作/小手鞠るい 絵/長田恵子

お父さんの妹、家族が住んでいるアメリカへの家族旅行。毎年恒例だけど、今年の旅行はお母さんがいない。もうすぐお母さんはイタリアへ単身赴任してしまうからだ。家族が離れ離れになってしまうことに不安をおぼえる舞は、素直に旅行を楽しめない。しかし、美敷おばさんやいとこたちから、いろいろなカタチの家族がいることを聞いて…。



『空から見える、あの子の心』

童心社

93/E

作/ヴェリー・ピアル 訳/久保陽子 絵/平澤朋子

同級生となじめないエイプリルは、みんなと距離をとりたくて、休み時間に年下の子のお世話をするボランティアをはじめた。そのなかで、いつも一人で不思議な行動をとるジョーイという男の子から目が離せなくなった。いったい彼はなにをしているのだろうか? しかし、ジョーイの行動は、ある特性を持っていることに気づいて…。

エイプリルとジョーイ、二人の出会いが、学校をまぎこんだおおごとに発展していく!

